

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月20日

【評価実施概要】

事業所番号	3871400259		
法人名	有限会社 和家		
事業所名	グループホーム 蘭		
所在地	西予市宇和町河内166 1 (電話) 0894 66 0696		
管理者	清水 勝美		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年8月10日	評価確定日	平成20年9月20日

【情報提供票より】 (平成20年7月28日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成17年11月4日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	8人, 非常勤 1人, 常勤換算 6.3人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	700/1日 21,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,000 円		
(3) 利用者の概要 (平成20年7月28日現在)			
利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名
要介護3	1 名	要介護4	3 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 84.6 歳	最低 81 歳	最高 91 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>利用者の俳句や川柳・絵手紙等は、地域にあるギャラリーに出品されている。地元のお盆行事(卵のぼたる)に出される灯ろうも作っておられた。又、かまぼこ板の作品展にも利用者の作品を出し、見に行くことを予定されていた。</p> <p>近くのグループホームと、利用者も含めて日頃より交流されている。又、今後、市内の他事業所職員の1日研修を受け入れる予定となっている。</p> <p>センター方式のアセスメント表をもとに、日々のケアの中で職員の気付いたことやご本人の思いを書きとめ、介護計画に反映できるよう取り組まれている。又、ご本人の詠まれる俳句や川柳からも、ご本人の思いを汲み取るよう努めておられる。</p>
--

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・前回の評価結果を受けて、利用者個々の思いや意向の把握に努めるために、センター方式に沿って情報収集を行い、介護計画に活かすことに取り組まれた。</p>
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・管理者は、職員会議で外部評価の趣旨を説明し、職員全員で自己評価に取り組み、施設長・管理者・主任でまとめられた。</p>
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>・会議は、年間計画を立て、テーマに沿ってすすめておられる。認知症の勉強会等を行った際には、地域の方から「認知症に対する考え方が変わってきた」等の意見が聞かれた。又、出席者より「利用者の作品をこけむしる(近くのギャラリー)に出してはどうか」との提案をいただき、出品された。</p>
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>・ご家族の来訪時に、意見や要望を聞いておられる。家族会は、年2回開催されており、一度は弁当を持って利用者もともに出かけ、話し合うような機会が作られている。</p>
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・地域行事には積極的に参加し、保育園、小・中学生との交流も行われている。夏休みには、小・中学生が週2~3回、ボランティアで来てくれている。</p>

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 蘭

(ユニット名) 1ユニット

記入者(管理者)

氏名 清水 勝美

評価完了日 平成 20 年 7 月 28 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			住み慣れた地域の中で、その人らしく暮らし続ける事を支えていくための理念が出来ている。		設立の時から理念については何度も復唱。
			(外部評価)		
			利用者が地域の中で、毎日をいきいきと過ごすことを支えていけるよう、理念を作られている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			職員会で具体的なケアについて意見の統一を図っている。		今後も、施設に入った時は心に命じて仕事に入るよう心がけたい。
			(外部評価)		
			管理者・職員は、日々の中や職員会等で、理念に基づき具体的なケアについて話し合われている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			来所者の見やすい壁に理念を掲示、家族に説明している。又、地域の行事に積極的に参加し、年2回の家族会で家族と触れ合ったり月便りを活用している。		折々の地域の行事に参加し、団体、個人の来訪者を何時でも受け入れ説明に心がける。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 野菜を頂いたり、自所で出来た物を、近所の方や保育所、小学校などに届け交流している。		お茶会、イベントの招待の定例化、入居者の作る料理をおすわけしたりバーベキューなどに誘う。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 運営推進会議や学校や保育園行事で子供や地元との交流が多い。 (外部評価) 地域行事には積極的に参加し、保育園、小・中学生との交流も行われている。夏休みには、小・中学生が週2～3回、ボランティアで来てくれている。		敬老会などの参加交流をしたいが、会場がバリアフリーでないので移動が自分で出来る人が少ない。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 実習生、ボランティアの受け入れ、学校、保育所との交流会で貢献している、		敬老会などの参加交流
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員会で報告、真摯に受け止め改善点など指導を仰ぐようにしている (外部評価) 管理者は、職員会議で外部評価の趣旨を説明し、職員全員で自己評価に取り組み、施設長・管理者・主任でまとめられた。前回の評価結果を受けて、利用者個々の思いや意向の把握に努めるために、センター方式に沿って情報収集を行い、介護計画に活かすことに取り組まれた。		自分の施設を見なおすためには必要かなを思う。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議で出た意見を職員会で報告している。		第3者の意見を活かせるようにする。
			(外部評価)		
			会議は、年間計画を立て、テーマに沿ってすすめてお られる。認知症の勉強会等を行った際には、地域の方 から「認知症に対する考え方が変わってきた」等の意 見が聞かれた。又、出席者より「利用者の作品をこけ むしろ（近くのギャラリー）に出してはどうか」との 提案をいただき出品された。		事業所では、今後、婦人会・消防団の方等にも会 議に出席いただきたいと考えておられる。さら に、いろいろな立場の方の出席をいただき、話し 合いを行い、意見を貴事業所のサービス向上につ なげていかれてほしい。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			市の職員の参加や会議後の報告を職員会などで行う。		
			(外部評価)		
			運営推進会議では、市の保健師の方に「感染症」や 「認知症」についてお話をいただいた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			GHの研修会に参加したり、家族に会った時にアドバ イス程度に情報の提供をする。		研修会に参加し理解するように努める。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見逃ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			研修会の機会があれば参加し、介護者のモラルとして 自覚するよう努める。		虐待の線引きが難しい事例がある。個人を尊敬し 慎重に関わりたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時などで家族に説明し了解いただき相互理解に努めている。		契約後も、契約内容などを折にふれてお話する。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員に話を聞いてもらう、不満や苦情があれば職員全員で共有し今後のケアに反映させている		職員会で必ず話し合う。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月、預り金明細や近況報告をし、年2回の家族会や日常の面会時にも報告し確認してもらう。		今後も全体報告と個人通信を続ける。
			(外部評価) 毎月、個別に便りを作成し、近況報告や行事、預かり金の報告をされている。ご家族の中には、便りを兄弟にコピーして送っている方もあり、事業所やご本人の生活の様子がよくわかると感想をいただいている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議に家族が参加したり、意見箱の設置をしている。		家族だけの家族会、家族、職員との交流会の実施ができればいい。
			(外部評価) ご家族の来訪時に意見や要望を聞いておられる。家族会は、年2回開催されており、一度は弁当を持って利用者もともに出かけ、話し合うような機会が作られている。		管理者は、今後、ご家族の本音を引き出せるような働きかけや機会作りを工夫していきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)		
			毎月、職員会に意見を聞いたり、意見の収集に努める。		常時、業務の中で気づき等の意見を聞く。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)		
			話し合いや勤務の調整に努力している、希望休はとりやすい。		出来るだけ日勤人員は多く配置したい
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)		
			異動はない、離職者の1名だけ		県、GH、市などの研修には参加させたい
			(外部評価)		
			職員は、地元の人も多く、利用者と同顔馴染みの関係ができています。		
5 . 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)		
			職員全員が均等に研修機会がある、研修内容も職員会で報告し共有している。		実務に関わる研修には参加させたい
			(外部評価)		
			事業所では職員の希望も聞きながら、すべての職員が年4～5回、研修を受講できるよう取り組んでおられる。職員は、ケアの技術や記録の書き方・拘束等の研修を受けられ、日々のケアに活かしておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)		
			施設合同の消防、救急法研修などに参加したり、近くの施設へ利用者と遊びに行き話を聞いたりする		消防署で救急救命の実技講習を修了しました。
			(外部評価)		
			近くのグループホームと、利用者も含めて日頃より交流されている。又、今後、市内の他事業所職員の1日研修を受け入れる予定となっている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			職員だけの交流会を数か月に1回行い、交流をする。		グループでボーリングなどを楽しむ。
22		向上心を持って働き続けるための取組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			仕事を楽しくする職場作りを目標にしている		給料UP。仕事上の悩みを早期に解決しよう話し合いの場を設ける。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			事前に本人や家族関係者と話し合い、入居者状況を職員会で把握し、入所してからもささいな事でも情報を共有している		家族共々で本人の納得のゆくように話し合う。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 再アセスメントや家族と相談し意見を聞く、電話、面会、月報告などで意向を聞き、次に継続する。		内容によっては、地域包括支援センターにも相談する。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 話し合いを重ねて、対応策を検討する		本人の履歴などを参考にニーズにあよう支援を重ねる。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人や職員全員で利用者につき相談し再アセスメントで家族等と相談や意見を聞く (外部評価) 入居前に、職員がご自宅を訪れたり、事業所を見学してもらおう等されている。入居間もない頃は、落ち着かれないこともあるが、一緒に外を歩かれたり、時にご家族に電話していただく等、協力を得ておられる。		初めからの信頼関係で、本人が落ち着いた生活が出来るように望んでいる。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 日々の生活の中で、話す時間を持つよう努め自然の会話から歩んだ人生を傾聴し共感する、利用者から学ぶことが多い。 (外部評価) 職員は、利用者から料理の味付けや調理方法を教えてもらうこともある。		ねぎらいの言葉を頂くが、尊敬の念を持ち学ぶ心を忘れない。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 常に家族との面会の機会を作り、家族と話す時間をもつようにしている、家族とのイベントには相互交流に努める。		全職員で同じ思いで支えている事を、利用者や家族に伝えている。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 月刊の通信で面会の呼びかけ、面会時に家族と外出し、家族との電話連絡の実施、手紙などを出しやすい環境をつくる。		遠くの家族と疎遠にならないように配慮したい
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの人が来られたら再来を声かけする		家族間との協力も話し合う
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 楽しく過ごすよう職員が間に入り調整役になっている、席かえ等の対応もおこなう		個別に話を聞いたり、利用者一人一人の心のうちを理解し楽しく過ごす時間や場所を設定できるようにしたい
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退所された本人が、遊びに来られる。退所者の家に呼んでいただく。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	(自己評価)		
			<p>シートに基づき思いや日頃の言動から考えを考慮し日々努める、家族や関係者を交えて相談する。</p>		常に謙虚な心とさりげない観察を心がけたい。センター方式の有効活用したい。
			(外部評価)		
			<p>センター方式のアセスメント表をもとに、日々のケアの中で職員の気付いたことやご本人の思いを書きとめ、介護計画に反映できるよう取り組まれている。又、ご本人の詠まれる俳句や川柳からも、ご本人の思いを汲み取るよう努めておられる。</p>		
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>家族や関係者から情報を得るように努める、その情報をサービスに取り入れる</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>日々の記録、観察、家族からの情報を基に能力を固定することなく、挑戦してもらうよう努める</p>		日常生活のなかで一人に作業が集中しないよう、利用者全員それぞれが出来る自信をもってもらえるようにしたい
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	(自己評価)		
			<p>センター方式を取り入れ、職員会等でカンファレンスし、計画作成者と担当者話しあい計画案を練る。</p>		職員が自分の担当利用者をアセスメントし問題を提供しながら計画をする。
			(外部評価)		
			<p>介護計画は、ご本人の希望や、職員の気付き・担当医師の指導等を取り入れて作成されている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)			
				出来るだけ情報を得たいが家族が安心しきって新たな問題がでない、定期的に現状に即した介護計画を作成する。		家族に利用者の現状を見てもらい、家族の意見を聞きたいが、家族は遠慮しているように思える。
			(外部評価)			
			介護計画は、3ヶ月に1度見直しを行い、毎月、評価モニタリングをされている。			
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)			
				個別に介護記録に記入し、申し送り、メモなどの伝達を重要視している		職員全員で毎月のサービス担当者会の内容を計画に生かすようしている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援						
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)			
				通院、外出、外泊、買い物などの柔軟な対応をしている		ショートやデイサービスについては検討してゆきたい。
			(外部評価)			
			入院中の娘さんのお見舞いに行かれる利用者に行きされたり、ご本人のご自宅で2～3時間一緒に過ごされる等、ご本人の要望や状況に応じて臨機応変に対応されている。			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域ボランティア、お店、小学校、保育園との交流などで地域資源を活用している		継続できるボランティアを探したい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の意思や必要性に応じて新聞をとったり訪問美容師が来所する		家族にはサービス情報を出来るだけ細かく提供するように心がける。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 必要に応じ相互に情報交換したり、直接に訪問することがある。		困難事例の相談に乗ってもらおう。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 事業所のかかりつけ医とは別に本人や、利用者の症状に応じて、家族の馴染みの医院に受診されるように柔軟な対応をしている。 (外部評価) 以前からのかかりつけ医を受診される方もおられる。協力医は携帯番号を教えてくれており、夜中でも診てもらえるようになっている。		定期的に担当医が訪問して欲しい。
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 主治医の指示、助言で受診している。		認知症の研修会には出席し対応技術を学んでいる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 常勤でケア、医療ともに相談している		チョットの気ずきも相互に情報を交換している。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 本人、家族と適宜に連絡をとる。何度も見舞って情報交換する。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 家族には話しているが、職員全体には充分でない。今後の課題である。		医者に相談しながら、家族には状況を報告し緊急に備えている。
			(外部評価) 現在、管理者は、ご家族の来訪の際に、ご本人の重度化・終末期の支援についての希望や要望等について、順次聞き取りをされている。		さらに、重度化・終末期の対応等については、ご家族も不安なことでもあり、事業所でできること、できないことについて話し合いを重ねていかれてほしい。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 検討中です		終末期をここで終えたい入居者もいるので、今後は希望に添うようすべきと思う。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 本人にとって何がベストか話し合う、退所などの場合は関係者で情報交換を行う。		常に在宅復帰を提唱している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	(自己評価)		
			<p>研修会などで取得しながら対応している、日々の関わりの中で十分に意識している。</p>		<p>人間尊重をする。初心に戻れるよう話し合いの場を設けてほしい。</p>
			(外部評価)		
			<p>設備上、トイレの戸を開けて使用することもあるが、トイレにスクリーンを取り付けプライバシー保護に配慮されている。調査訪問時、利用者に電話がかかってきた際に職員は、「ゆっくり話してくださいね」と声をかけ、談話室の使用をすすめておられた。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	(自己評価)		
			<p>本人の意思をうかがうようにしている、意思表示の困難な時は選択してもらったり、特に食事の好みについては日々の観察から推測したり、自己決定の出来る声かけに努める。、</p>		<p>利用者自身はどうしたいのか、自己決定してもらうような働きかけが必要だと思う。</p>
			(外部評価)		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	(自己評価)		
			<p>一人一人の体調に配慮しながら、その日、その時の本人の気持ちを尊重して、できるだけ個別性のある支援をおこなっている</p>		<p>一人、一人のペースを守り、希望に添えるよう努める、時間外労働になったり、物理的に無理なこともある</p>
			(外部評価)		
			<p>起床時間・寝る時間等、個々の生活のリズムも大切に支援されている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 自己決定しにくい利用者は職員と一緒に考えて本人の気持ちになって支援に心がけている、美容は希望にあわせ、カット毛染めをしてもらうよう心がけている。		身だしなみの出来ない人には支援する
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 調理、盛り付け、片付けを利用者と共に行うが、手伝いの出来る人が限られる。職員と利用者が同じテーブルで楽しく食事をしている。 (外部評価) 調査訪問日は、誕生日を迎えられた方がおられ、ご本人好みのお祝いの食事を囲み、お話が弾んでいた。又、ケーキは利用者がクリーム等で飾り付けをされる等、皆で祝っておられる様子がうかがえた。		各テーブルに職員がついて、楽しい話題で食事できるよう配慮する。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 調理、盛り付け、片付けを利用者と共に行い、職員と利用者が同じテーブルで楽しく食事をする。家族が利用者の好きなオヤツなどを持参したり、みんなで手作りをたのしむ		利用者の好みのお料理など希望等を聞く
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) センター方式のチェックシートの利用により、紙パンツから布パンツに変えるなど個人能力に合った対応を検討会などで話し実行している。		紙パンツを減らせたらしい

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			利用者のその日の希望を確認し入っていただくようお願いする、利用者の安全のためにも職員の多い時間帯が望ましい。		その人の習慣や気持ちに合わせたい
			(外部評価)		
			入浴される順番や時間は、ご本人の希望を聞き、長湯を楽しまれる方もいる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			基本的には生活習慣を尊重し援助している、寝る時間は自由、昼夜逆転の場合は生活リズムを整えるよう努めている。		日中の活動で心地よい快眠を促す
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			得意分野で一人一人の力を発揮してもらうよう、出来そうな仕事を頼み感謝の言葉を伝えるようにしている		利用者の趣味などを生かした展示会などを開催している。
			(外部評価)		
			利用者の俳句や川柳・絵手紙等は、地域にあるギャラリーに出品されている。地元のお盆行事(卵のほたる)に出される灯ろうも作っておられた。又、かまぼこ板の作品展にも利用者の作品を出し、見に行くことを予定されていた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			買い物の来る人に対して小金額を持って買い物に行き本人が支払う支援をする。		散歩ついでに買物をしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			その日の天候や気分によって散歩に行ったり買い物に出る、一人一人の希望に添いたいが困難な場合もある。		少しでも日光にあたるよう午前、午後にわけて全員が出られるようにしている
			(外部評価)		
			日常的にお茶やおやつを持って散歩に出かけておられ、地域の方が一休みできるようにとベンチを用意してくれている。又、月に1度は利用者の希望を聞きながら、計画して皆で外出を楽しまれている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			全員で外出している、場所については利用者の要望を参考にし家族の協力など得ながらドライブする		本人が望んでも遠方には出られない条件があり、個人個人の希望が叶えにくい
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望に応じて手紙や、自分でダイヤルして電話をする。家族の事情で希望をかなえられないこともある。		難聴のひとは電話しづらい
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			気軽に来所しやすい雰囲気づくりを心がけている。訪問時間などは決めておらず家族の都合の良い時間帯に来ていただくよう配慮している		面会に来てても来所者と家族だけの居場所がない、交流室の利用法を考える。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 研修会で学び法的、技術面を習得する。職員会などで介護の安全か拘束かを話し合う。		疑問を感じる時は、包括支援センターなどで意見を聞く。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は玄関に鍵は掛けていない、居室は本人の意思に任せる、夜間は安全のため玄関は施錠する、		危険と安全について職員全員で検討する。
			(外部評価) 玄関にセンサーを設置し、人の出入りが分るようにされている。職員は、利用者の居場所の把握に努め、目配り・気配りに心がけておられた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者と同じ空間にいて把握しようとしてつとめている、夜間は廊下において全体を見渡せるようにしている		プライバシーについては時々。疑問に思うことがある、特に地域交流の時は。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者の状態に応じて管理するものと、そうでないものがある、薬、洗剤などは鍵のかかる場所で管理している		何が危険なのか再認識し危険防止する。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 定期的に訓練や勉強会を実施している、ヒヤリハットを用いて再発防止に取り組む		常に意識して注意深く介護したい、

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 講習会に参加、マニュアルの作成設置、訓練実施しているが緊急時に対応できるか不安である		消防署で研修を行った
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 毎月、避難訓練を実施、利用者の避難場所の意識づけの呼びかけ、近隣への声かけもしている (外部評価) 地震を想定した訓練等、毎回、火災や地震を想定して実施されている。課題点について話し合いながら、訓練を重ねておられる。		地震の訓練をマニュアルに取り入れたい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 日頃より生活上の危険について家族に詳しく説明している。		家族の中には本音で話して来ない方もいるのでケアについて苦慮する。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調の変化など気づいたら看護師に報告する。申し送り、バイタルの変調など報告、連絡、相談を密に行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>各利用者の薬の効用などについて記録を手近におき、何時でも調べられるようにしておく、受診結果、薬の変更など看護師から細かく報告を受け記録しておく。</p>		<p>服薬は本人に手渡しキチンと服用出来ているか確認している</p>
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食事からの摂取、職員の献立作りから予防する食材を意識して取り組む、体操、レク、散歩を実施</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>声かけして歯磨く、義歯のポリデント実施、自立以外は介助員が一部介助する。</p>		<p>食後、全員が毎回歯磨くようにしたい。</p>
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>水分補給の計量を行い、体調、季節などに合った対応をする、栄養バランスについては栄養士に助言を頂く。</p>		<p>お茶などは、好きな時に飲めるようヤカンなど設置</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>居間には、いつでもお茶が飲めるよう、やかんが用意されていた。夜間等には、居室にペットボトルにお茶を入れて持ち込まれたり、トイレに起きた時等、水分摂取できるよう声をかけておられる。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関にはマスクを設置し、マニュアルを参考にする。</p>		<p>職員と共にインフルエンザの予防注射を受けたり、手洗いはペーパータオルを使用</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎日、布巾の消毒。魚や肉は毎日業者が届ける。鮮度に注意する、食材の使いきり、賞味期限など注意する。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>道路や玄関周りに花を置き季節感を出すようにしている。ベンチ、ポットなどで自然を憩うよう、安全にも努める</p>		安全確認をおこたらない
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節の花を飾ったり、絵で季節や生活感を取入れる、家庭的な雰囲気があると思う。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間等には、季節の花や利用者・職員手作りの作品などが飾られている。調査訪問時、居間の畳の間で横になって休んでおられる利用者の姿もうかがえた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>交流室の活用を多化すれば、活用できそう。</p>		ボランティアの協力で趣味を行かせる場を作りたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			花やテレビでその人らしい居室もあるが寝る為だけの居室もある、本人の使いなれた物をもってきている。		リビングがほとんどの方の活動や、交流の場である。
			(外部評価)		
			位牌やテレビ・テーブル等を持ち込まれ、ご家族の写真等を飾られている。目の不自由な方の居室は、足元に物を置かないよう配慮されていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			リビング、居室は換気扇とエアコンを配置し空調に気をつけている		環境を利用して、季節により自然のキレイな空気を換気している。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			状況に合わせて手すりの設置をしたり、その都度工夫している		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			なるべく自分の力でして頂くよう話し合う、手を出しすぎないように見守りを重視する。		ささいな事でも、成功の喜びを伴にあじわいたい。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			畑に花や野菜を植え、ベランダでの洗濯物干しや椅子を出して日向ぼっこしている		周囲に障害物を置かない、ストレス解消のため外気にふれる

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者の本音や建て前が判断しづらいが、定期的に利用者の情報交換を共有化している、利用者、職員の異動も少なく気心も理解できてる。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ②数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	毎日は出来ないが、食後や入浴時にはユトリがある。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	喜怒哀楽の表情が見れる。が、職員ペースにもなりかねない。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	介助員の技術力に差が多少ある、
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	意思表示の出来ない利用者との介助側がかみ合わない時がある。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	常勤看護師と介護員の連携がとれている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	完璧とはいえないが安心できる。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	困った事や不安は職員に相談している、家族は介護からの開放で無関心すぎないように見える。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	ボランティア、交流会などで訪問者があるが、以前の生活状況に異なり面会者の回数が異なる。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	入居者は完全に此処の住民にはなれない、入所前の生活を変えるには時間がかかる。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の要求を完全消化は出来ないが、元気で明るい仕事ぶりはうかがえる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	完全ではないが、職員の気配りは感じる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が ② 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	感謝の言葉や意見が多くみられる、安心な介護の意味は深い。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

隣接する小学校と保育園の子供達との交流を多く持ち、利用者も自分の孫のように非常に喜んでおり刺激となっている。又、近隣の方々にも声をかけて頂いたり、季節の野菜などいただいたりと地域の施設として少しずつ溶け込んでいます。開設以来、職員の離職者は1名で、利用者中心の介護を目指し、日勤帯は看護師を含め4名の職員がほぼ毎日介護を行い、利用者向き合い、明るく楽しいケアを心がけています。